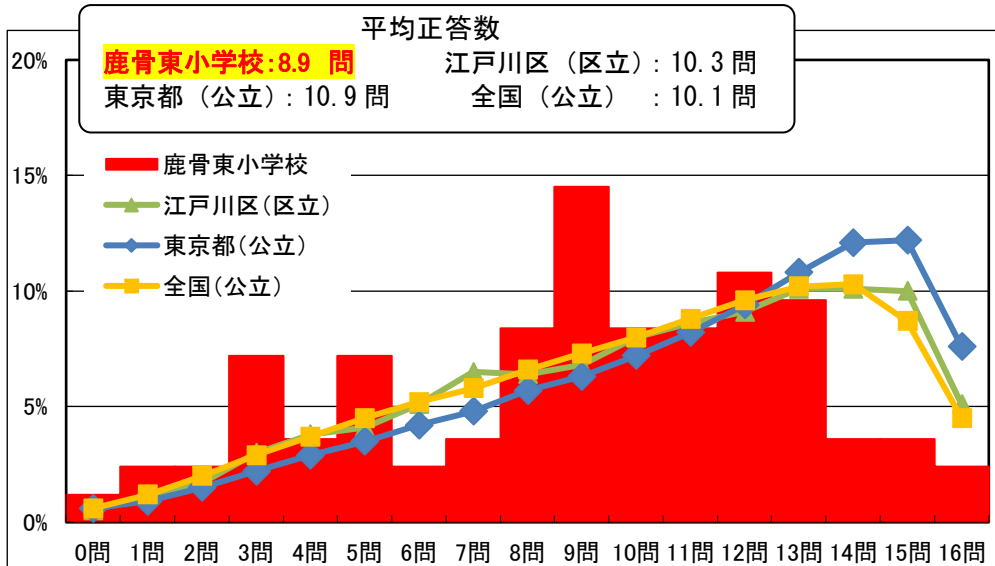


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 鹿骨東小学校

正答数分布



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

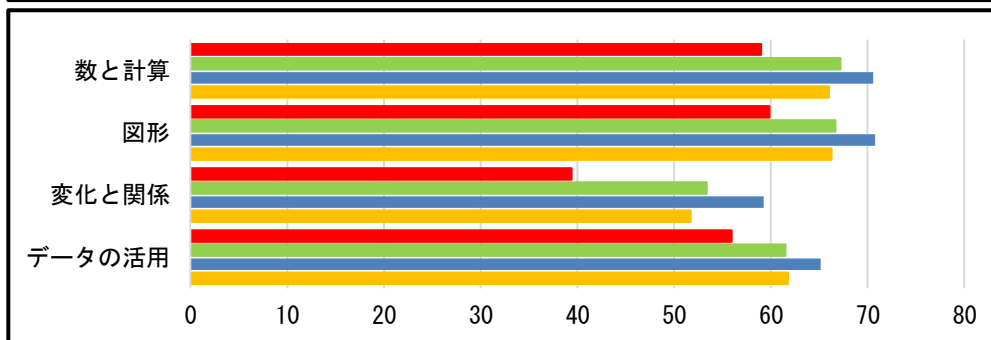
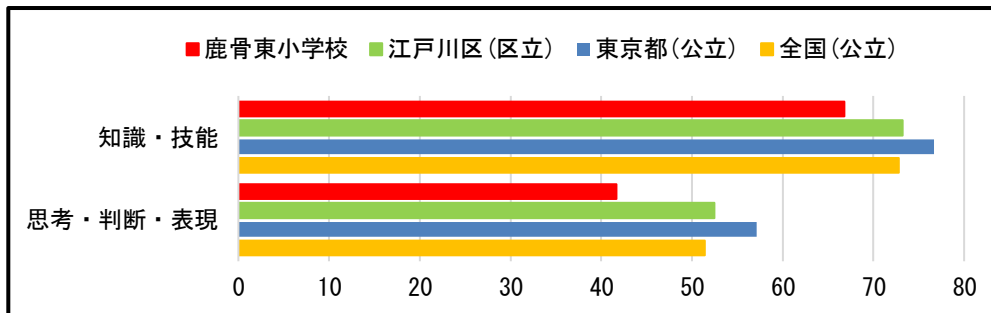
算数	上位 ← → 下位			
	A層 14~16問	B層 12~13問	C層 8~11問	D層 0~7問
鹿骨東小学校	9.6	20.4	39.7	30.1
江戸川区 (区立)	25.2	19.2	29.8	25.8
東京都 (公立)	31.9	20.2	27.4	20.5
全国 (公立)	23.5	19.8	30.7	26.0

【平均正答率の差】

鹿骨東小学校	56%
江戸川区 (区立)	64%
東京都 (公立)	68%
全国 (公立)	63.4%
都との差	12ポイント

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都 (公立) のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【分析結果と授業改善に向けて】

他と比較してA層は少ない。B層はほぼ他と同率である。CD層が合計69.8%で過半数を超えており、昨年度の63.1%よりも割合が増している。さらに、思考・判断・表現が全国平均よりも約15%低い結果となった。

したがって、今後は継続して基礎、基本の習得を目指すと共に、問題文を式にしたり、自身の考えを表現したりすることを授業内で意識的に入れ、児童が考えを表現することができるようにする。